

諸 報 告

ページ

第 1 前回幹事会以降の経過報告

1	会長談話	8
2	会長等出席行事	11
3	委員の辞任	11
4	賞の推薦依頼	11

第 2 各部・各委員会等報告

1	部会の開催とその議題	11
2	幹事会附置委員会の開催とその議題	12
3	機能別委員会の開催とその議題	12
4	分野別委員会の開催とその議題	13
5	課題別委員会の開催とその議題	25
6	若手アカデミーの開催とその議題	25
7	サイエンスカフェの開催	25
8	総合科学技術・イノベーション会議報告	26
9	慶弔	26
10	意思の表出（英訳版）に係る報告	26

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長談話

日本学術会議会長談話

伊藤正男元会長に対する弔意

第16期（平成6年7月～平成9年7月）の3年にわたって会長を務められた伊藤正男先生が、去る12月18日に逝去されました。

この第16期には、科学技術基本法の成立（平成7年）、同法に基づく科学技術基本計画の策定（平成8年）による長期的視野に立った体系的かつ一貫した科学技術政策の実行という、科学技術政策にとって大きな出来事がありました。また、戦後初の大都市直下型地震である阪神・淡路大震災が発生し（平成7年）、神戸市を中心とした阪神地域及び淡路島北部は甚大な被害を受けました。これらの重大事に際し、日本学術会議は、伊藤正男先生をトップとする体制の下、学術研究体制の改善充実を早急に進める必要性について政府に勧告、要望を行い、また、人文・社会科学から自然科学まで全学術分野を網羅しているという日本学術会議の特長を最大限活用して阪神・淡路大震災の経験の考察を行うなど、学術界の発展及び社会への貢献のために尽力いたしました。そのほかにも、当時の日本学術会議は、伊藤正男先生のリーダーシップの下、優れた若手研究者の養成や高齢者の福祉及び医療、学術と産業との関わりなど、今現在も続く数々の学術界の重要課題に果敢に取り組んでおり、伊藤正男先生が学術界に残された御功績は計り知れません。

日本学術会議は、伊藤正男先生の多大なる御貢献に深く感謝し、ここに謹んで哀悼の意を表します。

平成30年12月26日
日本学術会議会長 山極 壽一

年頭挨拶 ～日本学術会議70周年を迎えて～

新年あけましておめでとうございます。

今年は亥年です。猪突猛進と言われるように、イノシシにはあまり深い配慮をせずにひたすら前へ突き進む、というイメージがあります。私もアフリカの熱帯雨林でカワイノシシの群れに出会って、怖い思いをしたことがあります。100頭を超える大群でしたが、リーダーのオスはたった1頭で私に向かって突進してきました。赤っぽい毛色で、耳が白く、その先の長い毛が風にひらめき、雷神のように見えました。鋭い牙にかかったら、命も危ないと思い、急いで大樹の陰に隠れましたが、その後もオスはしつこく私の方へ向かってきたことを覚えています。メスや子どもたちを背後に抱えていますから、イノシシのオスは警戒心が強く、結構執念深いのです。

さて、イノシシには霊長類にはない特徴があります。それは子だくさんで、子どもの成

長が早いということです。なにしろ、2歳で性成熟に達し、妊娠期間は約4か月で、毎年春に子どもを平均5頭ほど産みます。近年、イノシシの農産物被害が急増し、全国で毎年50万頭を超える数が狩猟されているのですが、なかなか生息数も被害も減らないのはこのたくましい繁殖力と成長力によるものです。一方、同じぐらいの体重の類人猿や人間は一産一子、妊娠期間も長く、性成熟もずっと遅いので、イノシシに比べて少子の繁殖戦略を取ってきたと言えるでしょう。しかし、人間だけはいつの頃から出産間隔を短縮してたくさん子どもを産めるような繁殖能力を身に付けました。これに、1万2千年前に始まった食料生産、200年前に始まった産業革命、数十年前の情報革命が人口の増加を加速させた結果、73億人を超える人間圏を形成するに至ったのです。歴史を振り返ると、人間はますます猪突猛進的な生き方を強めていると言えるのかもしれない。

ただ、多産になっても人間の子どもの成長はむしろ遅くなり、寿命は延びています。イノシシの寿命は10年なのに、人間の子どもの成熟するまで20年近くかかり、最近では100歳を超える人が珍しくなくなりました。人間の進化は、人生をゆっくり生きるように設計されているのです。近年の経済を重視する生き方や、情報通信機器を過度に用いる生活は果たして人間の身体や心に合っているのかどうか、ここらで一度立ち止まって考え直す必要があると思います。

さて、日本学術会議はこの1月で70周年を迎えました。1949年に発足以来、1部から3部まで自然科学、人文・社会科学のすべての学術を網羅した研究者のコミュニティとして役割を果たしてきました。国際科学会議（ICSU）と国際社会科学評議会（ISSC）は、昨年になってやっと統合されて国際学術会議（ISC）として発足したのですから、日本学術会議は70年も前に先見の明があったことになります。1949年は湯川秀樹先生が日本で初めてのノーベル賞を受賞された年でもあります。明治維新以来、欧米諸国の先端科学に追い付こうとしてきた日本が、やっと世界に並び、そして世界を追い抜いたことを示した年なのです。奇しくも今この原稿を書いている私は、2018年のノーベル賞を受賞された本庶佑先生のお供で授賞式に出席しようとしています。本庶先生は26人目の日本人受賞者となりました。この70年間の日本の学術の輝かしい軌跡を誇りに思うと同時に、これからもこのような栄誉が与えられ続けるのだろうかという一抹の不安が頭をよぎります。

この20年間、日本の研究力は減退したと言われ続けてきました。そのきっかけはバブルの崩壊で日本の企業が中央研究所を縮小したことにはじまり、国立大学の法人化以降、毎年運営費交付金を減らして研究者の数と研究時間を削減してきたことにあると言っていいでしょう。将来研究者の道を歩む登竜門である博士課程への進学率が急速に落ちています。最近では、過去の日本のノーベル賞受賞者がこぞって基礎研究の重要性と、研究環境の充実を訴えています。今後も日本の学術が世界をリードする存在であり続けるために、日本学術会議は政府、産業界、社会と一体となって学術の強化を図らねばなりません。

そのために、私は「対話」を第24期の目標に掲げました。戦後、学術に対する社会の期待は今より強かったように思います。日本人々は科学が明るい未来を拓くという大きな夢を抱いていました。東京オリンピックや大阪万博が開かれ、世界の人々との輪や文化の多様性、科学へのあこがれが広がりました。科学雑誌が次々に創刊され、先を争ってそれに目を通した記憶が私にはあります。日本の発明や製品が続々と世界に進出し、Japan as No. 1という言葉が世間に飛び交う時代でもありました。しかし、バブル以降は企業の倒

産、合併、統合が相次ぎ、イノベーションが起こらないと言われるようになりました。科学雑誌も廃刊が相次ぎ、自然科学分野の研究者が英文の学術雑誌のみに研究成果を発表するようになって、科学の考え方や発見、発明の面白さを日本語で伝えるメディアが急速にやせ細った印象を受けます。それにともない、科学の成果ばかりに社会の関心が集まり、科学の基礎的な営みに対する興味が薄れてしまったのではないかと思います。とりわけ、未来を支える日本の青少年たちが学術への純粋な興味を持つ機会が少なくなっているような気がします。もっと、新しい、面白い考えをみんなでわいわい言いながら紡ぐ楽しさを、社会で広く共有する必要があるのではないのでしょうか。そのためにも、多様な「対話」が不可欠なのです。

ノーベル賞授賞式の最中、ポーランドでは COP24 が開催され、地球の平均気温の上昇に対して大きな懸念が表明されました。国連環境計画（UNEP）が発表した 2018 年度版の「排出ギャップ報告書」によると、世界の二酸化炭素（CO₂）総排出量は 4 年ぶりに増加しており、気候変動に対する国際的な取り組みが、目標とする水準に達していないと指摘されています。2015 年パリ協定が定めた目標を達成するには、世界の CO₂ 排出量を 2020 年までに減少へと転じさせる必要がありますが、2030 年でさえそれは難しいとされているのです。日本に限らず世界各地で最近温暖化の影響と思われる台風やハリケーンの大型化、火災の発生、地震や津波などが相次いでいますが、日本学術会議は世界の科学者と連携を組んで地球環境の劣化を防ぐ方策を緊急に立てねばなりません。すでに日本学術会議でも、防災・減災に関する委員会は日本の研究者コミュニティをまとめ、緊急の事態に際して迅速に行動できるような体制を作りつつあります。フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会も活発に活動を展開しています。このほか、この 3 月 6 日に日本学術会議が開催する S20 では、世界各国のアカデミー代表者とともに海洋環境の保全、とくに海洋プラスチックごみの問題を扱う予定です。

第 24 期はこれまでに、文部科学省、環境省、スポーツ庁から審議依頼を受け、政府が抱える重要課題について新たに委員会を設けて検討してきました。また、科学と社会委員会の下に政府・産業界との連携を目指す分科会やメディアとの連携を目指す分科会を立ち上げて、さまざまな「対話」の新しい方法を模索してきました。2030 年と 2050 年の日本の学術を見通すべく、幹事会を中心に日本の展望 2020 検討委員会を組織し、世界の学術の課題や日本の学術の強みや弱みを見据えた上で、いくつかのシナリオを描いてみようと思っています。これからその話し合いをはじめますが、4 月の総会でそのコンテンツは紹介できるだろうと思っています。どうかご期待ください。

限られた時間や予算の中、猪突猛進してきたこれまでの科学の歩みを反省しつつ、今年は、カワイノシシのように、しつこく執念深く、熟議の年としたいと思います

どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成 31 年 1 月 21 日

日本学術会議会長 山極 壽一

2 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
12 月 22 日(土)	日本学術会議 in 京都「伝統文化と科学・学術の新たな出会い」(京都府立京都学・歴彩館)	山極会長 渡辺副会長
12 月 25 日(火)	第4回 防災推進国民会議 (内閣総理大臣官邸)	武内副会長
1 月 11 日(金)	講書始の儀 (皇居)	渡辺副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

3 委員の辞任

地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同地球環境変化の人間側面(HD)分科会

山形 与志樹(平成30年12月17日付)

土木工学・建築学委員会企画分科会環境工学連合小委員会

飯田 雅宣(平成31年1月16日付)

木村 秀也(平成31年1月16日付)

細見 正明(平成31年1月16日付)

宮崎 あかね(平成31年1月16日付)

科学者委員会研究計画・研究資金検討分科会

梶田 隆章(平成31年1月22日付)

科学者委員会学術体制分科会

平田 佐智子(平成30年12月11日付)

科学と社会委員会科学と社会企画分科会

三成 美保(平成30年12月28日付)

4 賞の推薦依頼

畑井新喜司メダル

(平成31年11月1日)

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第二部役員会(第5回)(12月19日)

①今年度審議予算の使用方針

②日本の展望2020に掲載すべき内容について

(2) 第三部拡大役員会(第13回)(1月31日)

①財務委員会における審議内容の情報共有

および 第三部の運営方針と予算配分について

②夏季部会高校生アンケート結果の共有

- ③大学の現状とその在り方について ―第三部会における議論のまとめ―
- ④学術フォーラムについての周知
- ⑤日本の展望2020についての進捗状況説明
- ⑥31年度の第三部活動計画（案）について
- ⑦その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

（1）財務委員会（第2回）（12月19日）

- ①予算執行状況について
- ②平成31年度審議等予算の配分について
- ③その他

（2）日本の展望2020検討委員会（第2回）（12月19日）

- ①世界及び日本が抱える重要課題について
- ②自由討論
- ③その他

（3）外部評価対応委員会（第3回）（1月17日）

- ①外部評価有識者からの評価聴取
- ②その他

3 機能別委員会の開催とその議題

（1）科学と社会委員会 政府・産業界連携分科会（第7回）（12月20日）

- ①文部科学省との対話について
- ②提言の周知について
- ③その他

（2）科学と社会委員会 政府・産業界連携分科会（第8回）（12月20日）

- ①提言の科学技術イノベーション政策への展開について
- ②シンポジウム企画について
- ③その他

（3）科学者委員会ゲノム編集技術に関する分科会（第3回）（12月25日）

- ①前回議事要旨（案）について
- ②Second International Summit on Human Genome Editing について
- ③ゲノム編集による子どもの誕生のニュース後の日本学術会議の対応
- ④次回以降の進め方について
- ⑤その他

(4) 科学と社会委員会 科学と社会企画分科会 (第2回) (12月28日)

- ①日本の展望2020案の内容について
- ②SDGsの取り組みについて
- ③その他

(5) 科学者委員会 (第17回) (1月16日)

- ①提言案「学協会に係る法人制度の見直し、改善等について」について

(6) 科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会 (第9回) (1月22日)

- ①委員の辞任について
- ②大型研究計画公募案について
- ③大型研究計画の審査と体制について(特に、融合領域の審査のあり方)
- ④その他

(7) 国際委員会フューチャー・アースの国際的展開対応分科会 (第9回) (1月22日)

- ①第2回(H.30.2.1)分科会議事要旨(案)の承認について
- ②平成31年度 活動計画及び予算案の承認について
- ③平成31年度 フューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針の承認について
- ④平成31年度 4月2日から4日まで開催予定のAC/GCへの派遣者承認について
- ⑤4月22日から24日まで開催予定(於:札幌)のSOLAS(Surface Ocean - Lower Atmosphere Studies)国際会議への招へい者の承認について
- ⑥レビュー・パネルへの専門家派遣について
- ⑦フューチャー・アース規程の和訳配布について
- ⑧その他

(8) 国際委員会 (第15回) (1月30日)

- ①国際業務に参画するための特任連携会員の推薦について(4件)

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 第一部国際協力分科会 (第4回) (12月20日)

- ①ISCへの対応について
- ②AASSREC 会議対応について
- ③IFFSO 会議対応について
- ④人文・社会科学領域の国際交流拡大について
- ⑤その他

(2) 心理学・教育学委員会 実験社会科学分科会 (第1回) (12月22日)

- ①役員の選出
- ②24期の活動計画
 マスタープラン2018について
 実験社会科学カンファレンスについて
- ③その他

(3) 社会学委員会 社会福祉学分科会 (第4回) (12月22日)

- ①同和教育現状と課題について
 阿久澤麻理子氏 (大阪市立大学教授)
- ②その他

(4) 史学委員会 博物館・美術館等の組織運営に関する分科会 (第4回) (12月25日)

- ①研究報告「一橋大学における大学院生を対象に学芸員資格取得プログラムの実施
 経験と今後の展望」 (一橋大学大学院言語社会研究科准教授 小泉順也)
- ②報告「文化財活用センターについて」 (井上洋一委員)
- ③研究機関指定を受けている博物館・美術館を主な対象とした科学研究費補助金等の
 申請・採択に関するアンケート調査方法について
- ④その他

(5) 心理学・教育学委員会 排除・包摂と教育分科会 (第5回) (12月26日)

- ①外国にルーツをもつ子どもたちの現状と課題
 柿本 隆夫 氏 (大和市教育委員会教育長)
 福本 修 氏 (特定非営利活動法人 APSF相談員)
- ②その他

(6) 地域研究委員会 多文化共生分科会 (第5回) (12月27日)

- ①提言の骨子案についての意見交換

(7) 地域研究委員会 歴史的遺物返還に関する検討分科会 (第5回) (12月28日)

- ①参考人からの情報提供
 - ・絹笠 誠様 (内閣官房アイヌ総合政策室 参事官)
 「大学の保有するアイヌ遺骨等の出土地域への返還手続きについて」
 - ・加藤 博文委員 「スカンジナビア諸国での返還事例 (仮)」

(8) 社会学委員会 社会福祉学分科会 (第5回) (1月14日)

- ①提言の取りまとめの方向性について
- ②その他

(9) **社会学委員会** (第4回) (1月26日)

- ①各分科会の活動報告
- ②今期の活動について
- ③その他

(10) **政治学委員会 比較政治分科会** (第5回) (1月30日)

- ①1月30日公開シンポジウムの開催について
- ②比較政治分科会の今期活動について
- ③その他
- ④次回分科会開催日程について

第二部担当

(1) **農学委員会・食料科学委員会合同 東日本大震災に係る食料問題分科会** (第4回)
(12月21日)

- ①シンポジウムの開催について
- ②次回シンポジウムの計画について
- ③その他

(2) **臨床医学委員会 放射線防護・リスクマネジメント分科会** (第3回) (12月21日)

- ①医療における放射線被ばくについて
- ②その他

(3) **臨床医学委員会 循環器・内分泌・代謝分科会** (第1回) (12月26日)

- ①役員(委員長、副委員長、幹事)の選出について
- ②循環器・内分泌・代謝領域の課題と今後の活動方針について
- ③脳卒中・循環器疾患対策基本法の制定について
- ④公開シンポジウム開催について
- ⑤その他

(4) **健康・生活科学委員会 家政学分科会** (第9回) (12月26日)

- ①WGの提言の概要とスケジュール案
 - ・被服
 - ・住居
 - ・食物
 - ・保育
 - ・生涯教育
 - ・免許更新
 - ・科学研究費
- ②その他

報告

- 1) 生活科学系コンソーシアムシンポジウム
- 2) 生活科学系コンソーシアム会議
- 3) その他

(5) 食料科学委員会 畜産学分科会 (第4回) (12月28日)

- ①第24期の活動 (シンポジウムの開催、学協会との連携の充実など) について
- ②畜産学の学術分野における一層の国際化の推進について
- ③女性および若手研究者の一層の充実と活躍の推進について
- ④畜産学アカデミーの活動などについて
- ⑤その他

(6) 農学委員会・食料科学委員会合同 遺伝子組換え作物科会 (第4回) (12月28日)

- ①ゲノム編集技術の社会受容における行政的、あるいは、消費者視点からの意見について
 - 1) 筑波大学 大澤教授：ゲノム編集産物の生物多様性評価について
 - 2) 明治大学 中島教授：ゲノム編集作物(食品)の食品安全性について
 - 3) 生活クラブ 前田部長：ゲノム無編集作物の規制に関する提言について
- ②シンポジウム開催について
- ③その他

(7) 食料科学委員会 獣医学分科会 (第4回)、農学委員会・食料科学委員会合同 食の安全分科会 (第4回) 合同会議 (12月28日)

- ①24期のシンポジウム開催について (獣医学、食の安全)
- ②その他

(8) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・地球惑星科学委員会合同 自然史・古生物学分科会 (第3回) (1月8日)

- ①大学の学術標本調査結果の検討
- ②国立自然史博物館に関するシンポジウム
- ③その他

(9) 心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 行動生物学分科会 (第2回) (1月11日)

- ①マスタープラン2020について
- ②今後の活動について
- ③その他

(10) 健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会 (第3回) (1月12日)

- ①各ワーキンググループの進捗状況と意見交換

②その他

(11) 薬学委員会 生物系薬学分科会 (第3回) (1月18日)

①次回のシンポジウムについて

②その他

(12) 農学委員会・食料科学委員会合同 農業情報システム学分科会 (第4回) (1月18日)

①講演：2030年を見通した日本農業の課題と対策 (仮)

参考人：石田大喜氏 (農林水産省大臣官房政策課主席生産専門官)

②ロードマップについて

③平成31年度のシンポジウム企画について

④その他

第三部担当

(1) 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会 (第1回) (12月21日)

①第24期 IAHS 小委員会委員長の選任

②第23期 IAHS 小委員会の活動報告

③第24期 IUGG 分科会第1回会議報告

④第24期 IAHS 小委員会の活動方針について

⑤ IAEA (国際原子力機関) トレーニングコースの共催について

⑥ IAHS 小委員会と日本 UNESCO-IHP 国内委員会との協力関係について

⑦その他

(2) 健康・生活科学委員会・環境学委員会合同 環境リスク分科会 (第4回) (12月25日)

①第2回分科会議事録について

②第3回メール審議の結果について

③日本衛生学会との共催シンポジウムについて

④日本産業衛生学会との共催シンポジウムについて

⑤生命科学アカデミーへの助成金の申請手続きについて

⑥ポスター作製について

⑦Zoom について

⑧今後の運営方針について

⑨その他

(3) 総合工学委員会 ICO 分科会 (第3回) (12月25日)

①国際光デーについて

②今後の活動について

③その他

(4) 地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会 (第5回) (12月26日)

報告事項

① 第5期科学技術基本計画と中教審答申(2018/11/26)をめぐって

② 地学・地理学初級中等教育検討小委員会報告

討論事項

分会：大学および大学院WG

・大学・大学院教育の連携推進について

・学科長専攻長のアンケート追加事項

初等中等教育小委員会

・提言をめぐって

全体会

③ 平成30年度アクション事項の確認、討論

④ その他

(5) 総合工学委員会 総合工学企画分科会 (第3回) (12月26日)

①話題提供「アート思考のすすめ」

②総合工学シンポジウムの企画案

③マスタープランの検討状況

⑤ その他

(6) 地球惑星科学委員会 地球惑星科学企画分科会 (第7回) (12月27日)

① 地球惑星科学委員会(第4回)及び地球・惑星圏分科会(第3回)の議題整理

1 委員会・分科会の活動報告

2 大型研究計画のマスタープラン2020の策定方針について

3 地球惑星科学分野の大型研究計画マスタープランのヒアリングについて

4 地球惑星科学分野の夢ロードマップの改定について

5 2019年度のJpGUユニオンセッション開催について

6 その他

② その他

(7) 化学委員会 (第6回) (12月27日)

①全体会議の総括

②各分科会報告

③その他

(8) 化学委員会 化学企画分科会 (第2回) (12月27日)

①全体会議の総括

②各分科会報告

③ その他

(9) 化学委員会 IUPAC分科会 (第5回) (12月27日)

①第24期の活動について

1. IUPACの活動との連携について
2. IUPAC年会費規定の改正について
3. 国際周期表年、各種記念事業の準備状況について
4. 国際周期表年、国内イベント並びに閉会式について
5. 2019年7月パリ総会について
6. 2020-2021年IUPAC各ディビジョン委員の推薦について

②その他

(10) 化学委員会 IUCr分科会 (第2回) (12月27日)

①IUCr 2020について

②IUCr Commission の活動報告

③その他

(11) 化学委員会 物理化学・生物物理化学分科会 (第3回) (12月27日)

①大学における教育研究環境の現状把握と問題提起・起案について

②物理化学分野における情報科学の有益な活用について

③その他

(12) 化学委員会 無機化学分科会 (第2回) (12月27日)

①第24期委員の自己紹介

②錯体科学国際会議の報告と将来構想

③化学フェスタ特別企画の報告と今後の展開

④無機化学分野のアジアへの展開について

⑤国際周期表年2019への対応について

⑥意見交換：今後の無機化学分科会との取り組みについて

(13) 化学委員会 有機化学分科会 (第2回) (12月27日)

①有機化学分野における、アジアでの競争と協調

②有機化学におけるAIの活用

(14) 化学委員会 高分子化学分科会 (第3回) (12月27日)

①大型研究マスタープランについて

②高分子科学の最近の情勢について

③その他

(15) 化学委員会 材料化学分科会 (第4回) (12月27日)

- ①化学委員会（第4回、第5回）の紹介
- ②「情報科学との融合による新化学創生」小委員会の活動状況
- ③意見交換：今後の材料化学分科会としての取り組みについて
（7/23の勉強会での議論を含めて）
- ④今後の予定
- ⑤その他

（16）化学委員会 分析化学分科会（第5回）（12月27日）

- ①「大型研究計画」について
- ②その他

（17）化学委員会・物理学委員会合同 結晶学分科会（第2回）（12月27日）

- ①11月21日開催の公開シンポジウムを終えての意見交換と意見集約
- ②マスタープラン2020について
- ③来年度の活動計画
- ④その他

（18）化学委員会 生体関連化学分科会（第2回）（12月27日）

- ①日本における生体機能関連化学研究の将来展望

（19）化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会（第5回）（12月27日）

- ①公開シンポジウム企画について
- ②意思の表出に向けての議論
- ③その他

（20）物理学委員会・化学委員会合同 国際周期表年記念事業検討分科会（第3回）（12月27日）

- ①化学委員会活動報告
- ②各分科会活動報告
- ③その他
- ④講演「世界および中国の科学技術の現状について」
講演者：林 幸秀氏(科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー)
- ⑤講演：「情報科学との融合による新化学創成」
講演者：阿尻 雅文氏(東北大学材料科学高等研究所教授)

（21）環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP合同分科会（第3回）（12月27日）

- ①各小委員会からの報告
- ②国内外の動向に関する情報交換

③その他

(22) 土木工学・建築学委員会 IRDR分科会 (第6回) (12月28日)

- ① IRDR成都会議の報告
- ② 大型研究計画について
- ③ 新学術領域研究の申請について
- ④ その他

(23) 地球惑星科学委員会 (第5回)・地球惑星科学委員会 地球・惑星圏分科会 (第4回) 合同会議 (12月28日)

- ① 地球惑星科学分野大型研究計画ヒアリング
- ② その他

(24) 土木工学・建築学委員会 低頻度巨大災害分科会 (第3回) (1月7日)

- ① 地震保険の現状について
- ② 低頻度巨大災害に関する提言案について
- ③ その他

(25) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 安全目標の検討小委員会 (第5回) (1月8日)

- ① 「機械安全における安全目標と Safety 2.0」
- ② 「今期提言のまとめ方と課題」
- ③ その他

(26) 情報学委員会 国際サイエンスデータ分科会 (第4回) (1月10日)

- ① 2019年度の運営について
- ② 諸報告

(27) 情報学委員会 ビッグデータ分科会 (第3回) (1月10日)

- ① 合同シンポジウムの開催について
- ② 今後の分科会活動について
- ③ その他

(28) 情報学委員会 情報学教育分科会 (第2回) (1月10日)

- ① 情報教育の参照基準について
- ② 公開シンポジウムについて
- ③ 今後の大学共通教育について
- ④ その他

(29) 情報学委員会 環境知能分科会 (第4回) (1月10日)

①これまでの議論をまとめた意見の表出に関して

(30) 情報学委員会 安全・安心社会と情報技術分科会 (第3回) (1月10日)

- ①セキュリティ研究論理について
- ②大型研究計画について
- ③その他

(31) 情報学委員会 ITの生む諸課題検討分科会 (第3回) (1月10日)

- ①1/24(木)開催のシンポジウムについて
- ②今後の分科会活動について
- ③その他

(32) 情報学委員会 ユビキタス状況認識社会基盤分科会 (第3回) (1月10日)

- ①合同シンポジウムの開催について
- ②今後の分科会活動について
- ③その他

(33) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 計算科学を基盤とした産業競争力強化の検討小委員会 (第4回) (1月10日)

- ①2019年2月シンポジウム開催に向けての議論
 - ・当日の進行、役割分担
 - ・各講演者への御願い内容(考慮してほしい点)
 - ・総合討論の討論シナリオと各講演との関連性
 - ・特に、インパクトファクターの定義と算出の考え方
- ②その他

(34) 環境学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会 (第3回) (1月15日)

- ①公開シンポジウムの計画について

(35) 心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同 子どもの成育環境分科会 (第6回) (1月16日)

- ①議事録の確認
- ②話題提供 医療・健康分野から子どもの成育環境の課題
 - 1. 高橋 秀俊先生(神尾洋子先生のご紹介)
国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部
児童期精神保健研究室長 「発達障害の子どもの成育環境」(仮題)
 - 2. 山中 龍宏先生(水口先生紹介) 緑園こどもクリニック 院長
「子どもの遊びと事故予防」(仮題)
- ③シンポジウムの企画について

④その他

(36) 電気電子工学委員会 (第5回) (1月17日)

- ①活動計画について
- ②各分科会からの報告
- ③公開シンポジウムについて
- ④その他

(37) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 心と脳など新しい領域検討小委員会 (第7回) (1月18日)

- ①第6期科学技術基本計画(FY2021-2025)を見据えた本小委員会からの提言作成：話題提供
- ②提言案の討議
- ③その他(新委員の紹介他)

(38) 心理学・教育学委員会・情報学委員会合同 教育データ利活用分科会 (第3回) (1月22日)

報告：

- ①これまでの活動報告

議題：

- ①提言の内容について(論点の整理と方向性の確認)
- ②今後の予定
- ③その他

(39) 総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 IFAC分科会 (第2回) (1月22日)

- ①前回第24期第1回の分科会議事録の確認と承認
- ②構成員・役員の確認
- ③今期の分科会活動報告
- ④特任連携会員の付与について
- ⑤自動制御の多分野応用小委員会開催報告(第24期・第1回、第2回)
- ⑥来年度の分科会活動計画について
- ⑦メール審議の活用について(周知・依頼)
- ⑧IFACの状況及びIFAC2023の準備状況について
- ⑨自動制御連合協議会について
- ⑩IFAC本部からの通知について
- ⑪日本で開催が決定したIFAC会議について
- ⑫今後の分科会活動について
- ⑬その他

(40) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 力学基盤工学分科会 (第4回)、力学の深化・展開小委員会 (第2回) (1月23日)

- ①第4回理論応用力学シンポジウムについて
- ②理論応用力学講演会について
- ③今後の活動について
- ④その他

(41) 物理学委員会 IAU分科会 (第5回) 物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会 (第7回) 合同分科会 (1月23日)

IAU分科会

- ①提言「ハッブルの法則の改名を推奨する IAU決議への対応」の発出について
- ②IAU Junior member の推薦方法について
- ③IAU 100周年記念事業について
 - 1. 本部事業等について
 - 2. 国内のシンポジウムについて

天文学・宇宙物理学分科会

- ①オブザーバの依頼について
- ②マスタープラン2020への推薦計画の審議
- ③キャリアパス調査の進捗状況
- ④共同利用機関等からの報告
- ⑤その他

(42) 情報学委員会 ITの生む諸課題検討分科会 (第4回) (1月24日)

- ①シンポジウムの実施について
- ②今後の活動について
- ③その他

(43) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 心と脳など新しい領域検討小委員会 (第8回) (1月25日)

- ①第7回議事録確認
- ②第6期科学技術基本計画(FY2021-2025)を見据えた本小委員会からの提言案の討議
- ③第24期学術の大型研究計画申請について
- ④2019年の予定確認
- ⑤その他

(44) 機械工学委員会 生産科学分科会 (第4回) (1月28日)

- ①話題提供 (新野幹事、須藤委員、他)
- ②その他
- ③次回予定

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) 防災減災学術連携委員会 (第6回) (1月8日)

- ①防災推進国民大会2018の開催結果
- ②学術フォーラム「平成30年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告(案): 3月12日に開催予定」について
- ③防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会について
- ④その他

(2) フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会 持続可能な発展のための海洋教育と人材育成小委員会 (第3回) (1月20日)

- ①前回の話題提供の振り返り
- ②話題提供①海の学び旅～海洋教育におけるダークツーリズムの価値と意義
- ③話題提供②海と人との物語構築としての海洋教育

(3) フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会 (第4回) (1月22日)

- ①分科会の関係する国際的・国内的動向について
- ②第2回ワークショップの開催(5月頃)について
- ③シンポジウム(学術フォーラム)の開催(7月～9月)について
- ④その他

(4) 科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会 (第1回) (1月30日)

- ①役員の選出
- ②スポーツ庁からの審議依頼の報告
- ③話題提供(田原、山口各委員報告)
- ④本委員会活動について意見交換
- ⑤その他

6 若手アカデミーの開催とその議題

なし

7 サイエンスカフェの開催

なし

8 総合科学技術・イノベーション会議報告

1. 本会議

12月20日（木） 出席

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

1月10日（木） 出席

1月17日（木） 出席

1月24日（木） 出席

1月31日（木） 出席

9 慶弔

・慶事

日本国際賞受賞者

岡本 佳男 （連携会員（第20－21期））

・ご逝去

伊藤 正男（いとう まさお） 平成30年12月18日 享年91歳
元会員（第14期幹事、第15期副部長、第16期会長）、東京大学名誉教授

杉原 正顕（すぎはら まさあき） 平成31年1月5日 享年64歳
連携会員（第21－22期、第23－24期）、青山学院大学理工学部物理・数理学
科教授

10 意思の表出（英訳版）に係る報告

（1）回答「国際リニアコライダー計画の見直し案に関する所見」

（日本語回答：2018／12／19公表）

”Assessment of the Revised Plan of International Linear Collider Project”（Executive Summary）（英訳版要旨：2019／1／15公表）